

# 2011年度上期決算説明会

2011年11月16日  
株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ

1

## 目次

---

- I 11年度上期 決算実績
- II 11年度通期 業績見通し
- III 市場の動向
- IV 増産の進捗状況

2

## I 11年度上期 決算実績

3

## 11年度上期 決算業績

<参考> (億円)

	11年度上期 予想(4/27)	11年度上期 実績	増減 予想→実績	10年度上期 実績	増減 10上→11上
売上高	301	286.4	※ ▲ 14.6	144.7	+141.7
営業利益	29	33.6	+ 4.6	▲ 14.0	+ 47.6
営業外損益	▲ 2	▲ 5.8	▲ 3.8	▲ 4.9	▲ 0.9
経常利益	27	27.8	+ 0.8	▲ 18.9	+ 46.7
特別損益	0	▲ 1.4	▲ 1.4	▲ 15.0	+ 13.6
税引前当期利益	27	26.4	▲ 0.6	▲ 33.9	+ 60.3
当期純利益	17	15.7	▲ 1.3	▲ 20.0	+ 35.7

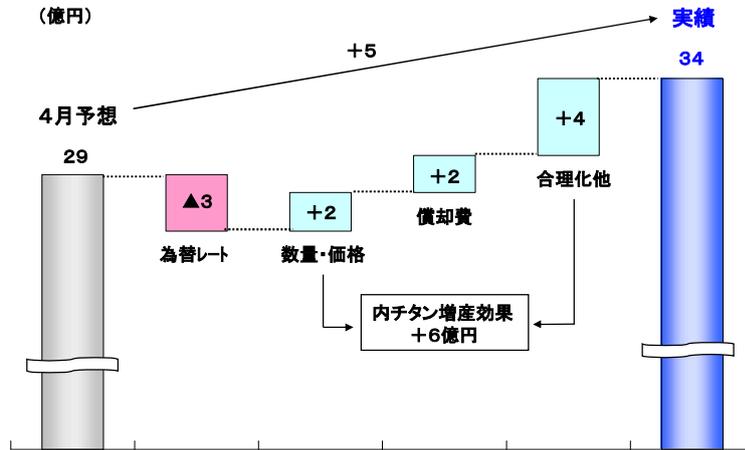
(為替レート) (83円/\$) (80円/\$) (3円/\$円高) (90円/\$) (10円/\$円高)

(注)	11/4予想	実績	増減
営業外損益 為替差損	▲ 1	▲ 5	▲ 4
特別損益 廃却・撤去損	0	▲ 1	▲ 1

※ 売上高増減内訳  
数量・価格 ▲11  
.....ホリシコン納期調整  
為替レート ▲ 4

4

## 11年度上期 営業利益 4月予想との差異



5

## 11年度上期 セグメント別業績

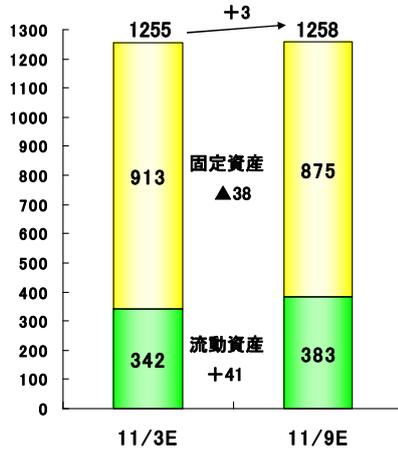
(億円)

	11年度上期実績		10年度上期実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
チタン事業	169.1	11.7	113.6	▲ 9.5	+ 55.5	+ 21.2
ポリシリコン事業	102.3	17.0	15.9	▲ 7.5	+ 86.4	+ 24.5
高機能材料事業	15.0	4.9	15.2	3.0	▲ 0.2	+ 1.9
計	286.4	33.6	144.7	▲ 14.0	+141.7	+ 47.6

6

## B/Sの概要

資産合計(億円)



負債・純資産合計(億円)



7

## C/Fの概要

(億円)

	11年度上期実績
税前償却前利益	+ 96
売上債権増減	△ 54
その他	△ 5
営業活動によるC/F	+ 37
有形固定資産取得	△180
その他	0
投資活動によるC/F	△180
借入金増減(リース債務含む)	+115
配当金	△ 4
財務活動によるC/F	+111
現金及び現金同等物増減	△ 32

手許資金残高 11/3E 56 → 11/9E 24

8

## Ⅱ 11年度通期 業績見通し

9

## 11年度通期 業績見通し

				＜参考＞ (億円)	
	11年度 前回予想 (4/27)	11年度 今回予想 (10/27)	増減 前回→今回	10年度 実績	増減 10→11
売上高	675	632	※ ▲ 43	337.6	※ +294.4
営業利益	70	78	+ 8	▲ 43.2	+121.2
営業外損益	▲ 5	▲ 8	▲ 3	▲ 6.9	▲ 1.1
経常利益	65	70	+ 5	▲ 50.1	+120.1
特別損益	▲ 1	▲ 4	▲ 3	▲ 19.9	+ 15.9
税引前当期利益	64	66	+ 2	▲ 70.0	+136.0
当期純利益	38	39	+ 1	▲ 41.7	+ 80.7

(為替レート) (83円/\$) (79円/\$) (4円/\$円高) (86円/\$) (7円/\$円高)

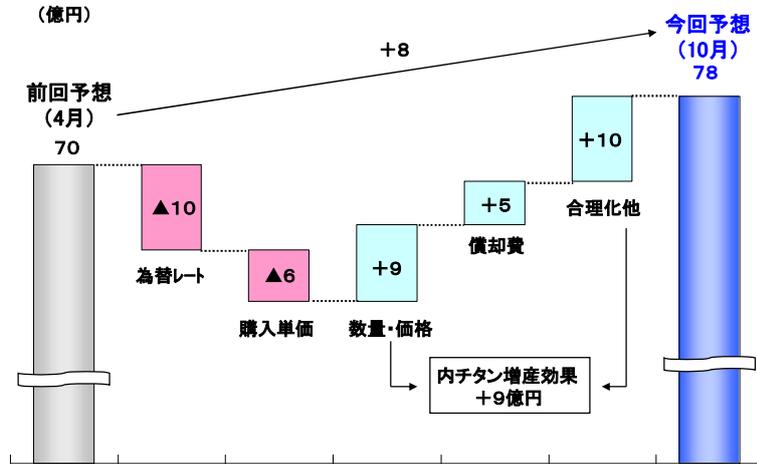
上実績 80円/\$  
下予想 77円/\$

(注) 営業外損益 為替差損	前回予想	今回予想	増減
	▲ 1	▲ 5	▲ 4
特別損益 廃却・撤去損	▲ 1	▲ 4	▲ 3

※ 売上高増減内訳	
対前回予想	数量・価格 ▲ 30 為替レート ▲ 13
対前期	数量・価格 +314 為替レート ▲ 20

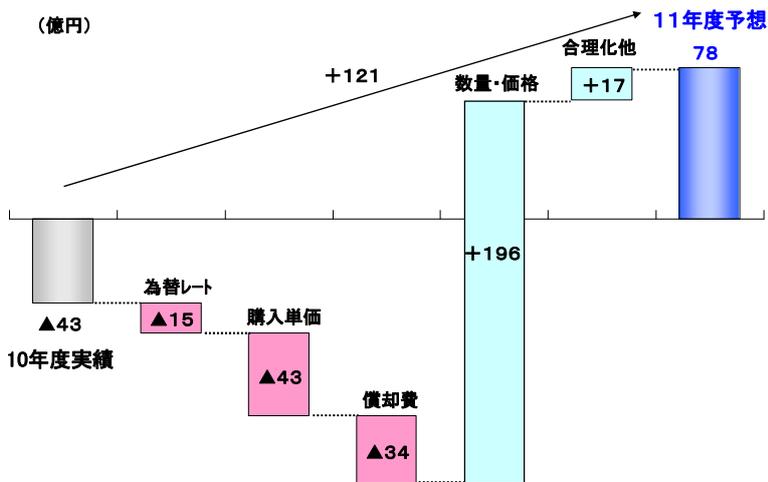
10

## 11年度営業利益 4月予想との差異



11

## 11年度営業利益 10年度実績との差異



12

## 11年度 セグメント別業績

【対前回予想比】

(億円)

	11年度予想(10月)		11年度予想(4月)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
チタン事業	359	21	364	10	▲ 5	+ 11
ポリシリコン事業	245	48	278	48	▲ 33	0
高機能材料事業	28	9	33	12	▲ 5	▲ 3
計	632	78	675	70	▲ 43	+ 8

【対前年度比】

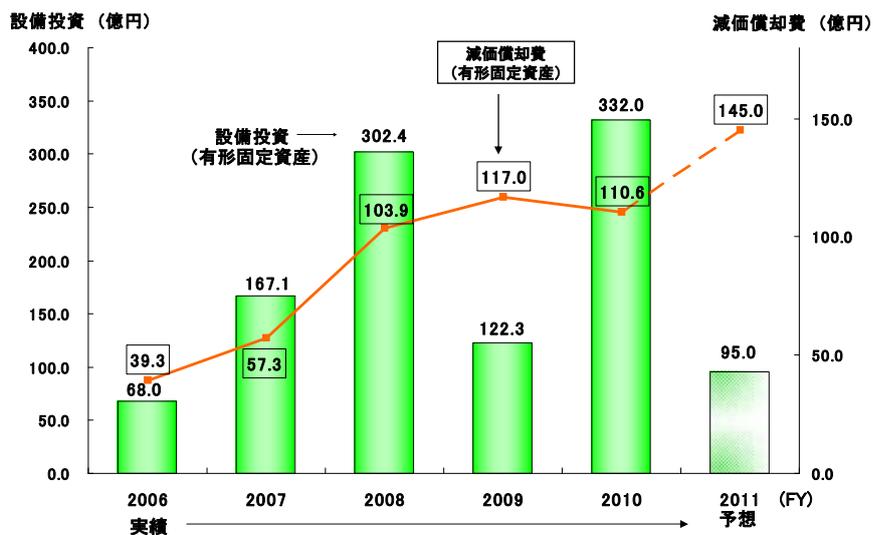
(億円)

	11年度予想(10月)		10年度実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
チタン事業	359	21	263.9	▲20.4	+ 95.1	+ 41.4
ポリシリコン事業	245	48	45.5	▲31.5	+199.5	+ 79.5
高機能材料事業	28	9	28.2	8.7	▲ 0.2	+ 0.3
計	632	78	337.6	▲43.2	+294.4	+121.2

13

(参考)

## 設備投資(土地除く)と減価償却費



14

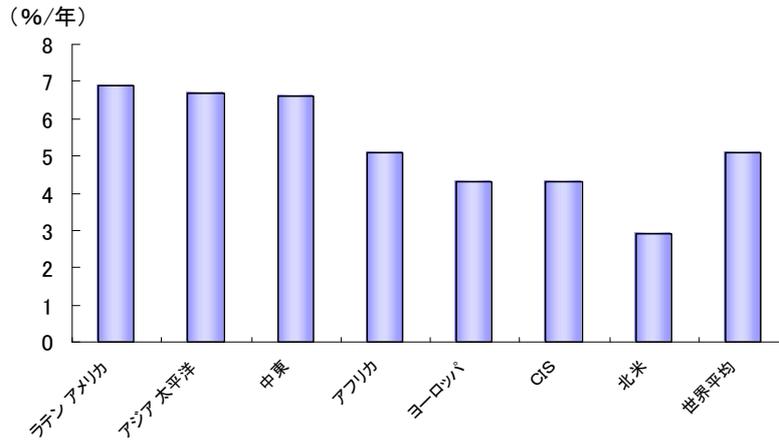
## Ⅲ 市場の動向

- 1 チタン
- 2 ポリシリコン
- 3 高機能材料

## チタン市場動向

	足元の状況	11年度下期以降の状況
航空機用 展伸材市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジン・機体分野主体に需要堅調、従来機の生産好調</li> <li>・一部ファスナー分野は在庫消化が遅れ、回復時期はずれ込む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来機のベストセラー機(B737・A320)増産体制へ</li> <li>・新型機就航(B787)、開発進捗(A350)により需要は更に拡大</li> <li>・一機あたりのチタン使用量(buy weight)は加工技術の向上により減少</li> <li>・スクラップ配合率の回復</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">スポンジチタン安定拡大軌道へ</p>
一般産業用 展伸材市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力・産業用プラントや海水淡水化用需要増加により過去最高水準の出荷続く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的な景気後退影響により、海水淡水化向け需要を含めて全体的に停滞懸念</li> </ul>

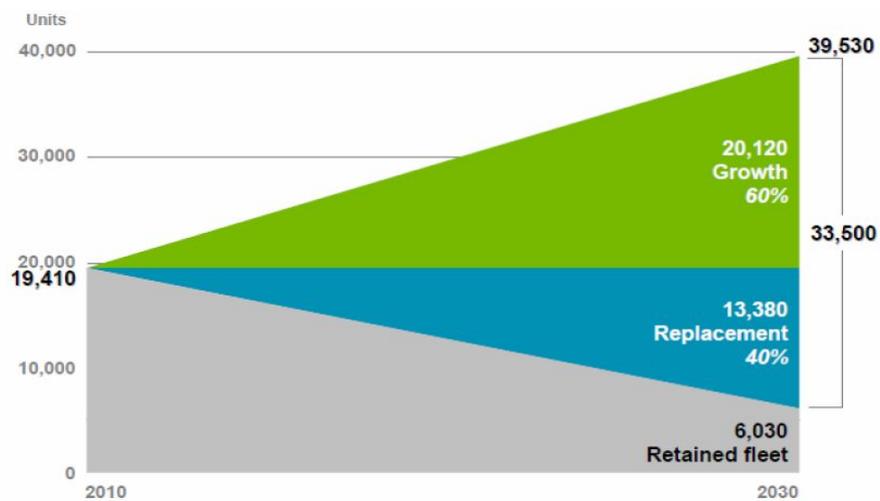
### 地域別輸送量(有償旅客距離)の伸び率予測(2010-2030年)



出典:ボーイング/カレント マーケット アウトルック(11/6)

17

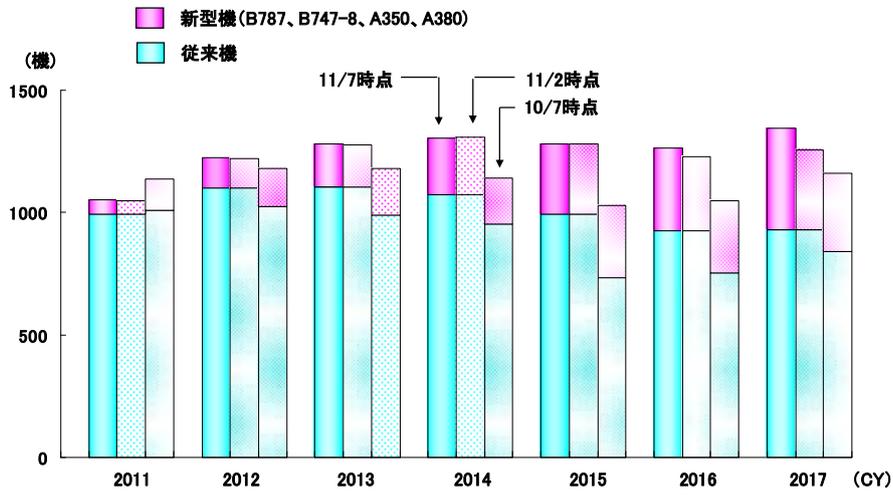
### 航空機需要予測(2010-2030年)



出典:ボーイング/カレント マーケット アウトルック(11/6)

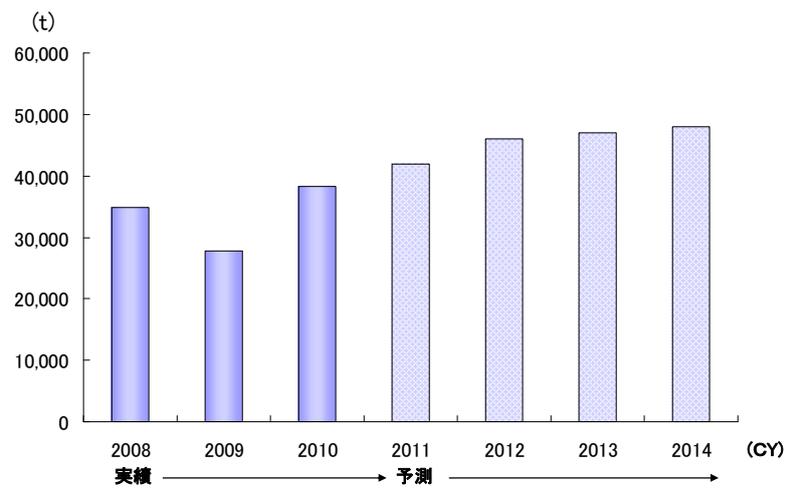
18

### Boeing・Airbus社納入機数予測



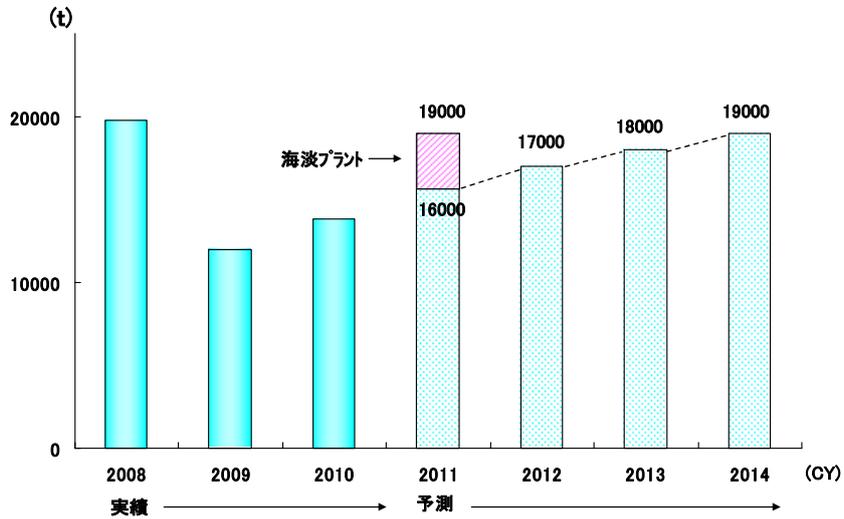
出典: The Airline Monitor (11/7)

### 米国のチタン出荷予測



出典: 米国内務省チタン統計 (~10)、当社推定 (11~)

## 国内の展伸材出荷予測



出典: 日本チタン協会 (~10)、当社推定 (11~)

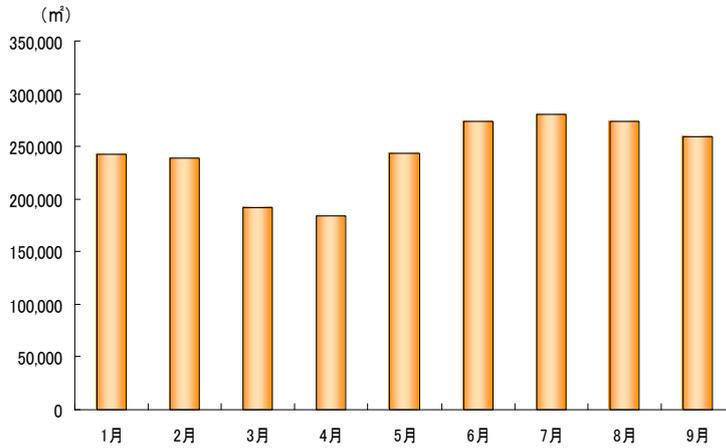
## ポリシリコン及び高機能材料の市場動向

	足元の状況	11年度下期以降の状況
ポリシリコン事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリ価格の値下がり、ウェーハ出荷数量減少など、半導体分野も需給調整局面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012年以降も安定的に需要増が期待できるものの、足下需給調整局面は半年程度続くと予想</li> </ul>
高機能材料事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>(高純度チタン)</li> <li>半導体需要に連動し、高純度チタンは需給調整局面 (TILOP)</li> <li>液晶TVの在庫調整により、TILOPは需給調整局面 (SiO)</li> <li>太陽電池生産量縮小により、太陽電池用バックシートは需給調整局面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要3品種ともに、足元の状況は半年程度続くと予想</li> </ul>

<ポリシリコン市場動向>

otc OSAKA Titanium Technologies Co., Ltd.

## 2011年日本国内シリコンウェーハ生産量



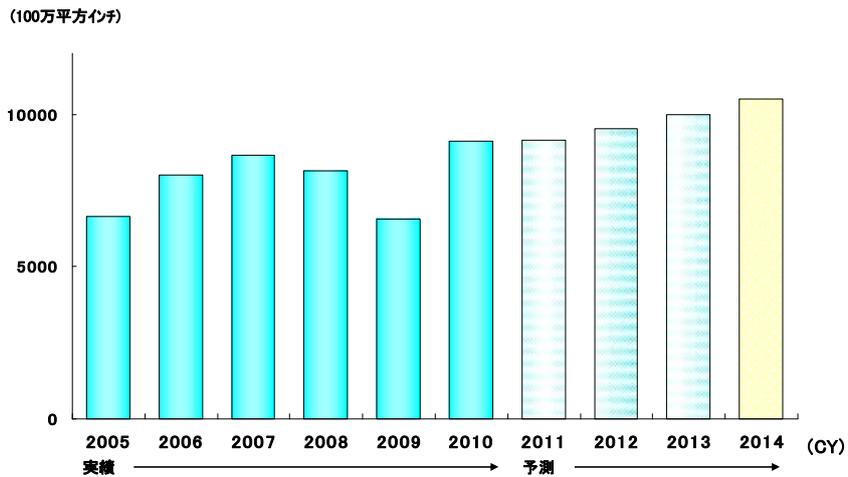
出典: 経済産業省統計

23

<ポリシリコン市場動向>

otc OSAKA Titanium Technologies Co., Ltd.

## シリコンウェーハ出荷面積(全世界)

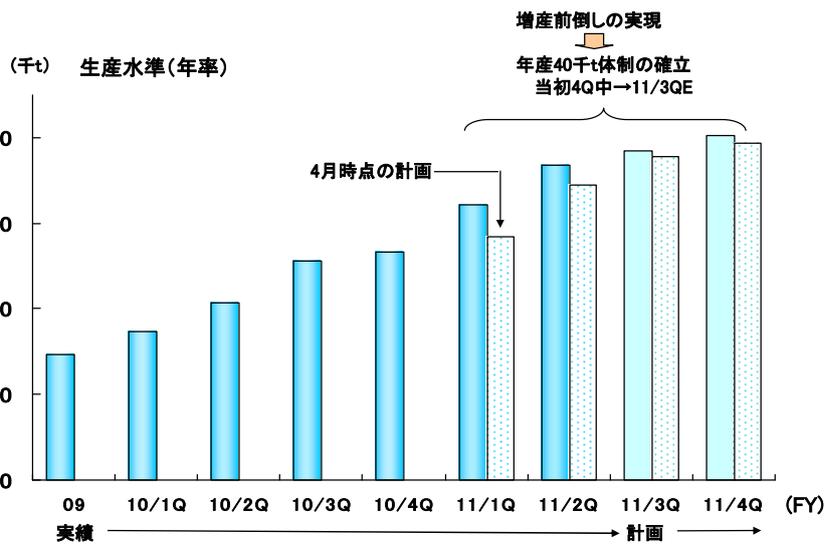


出典: SEMI、2014は当社推定

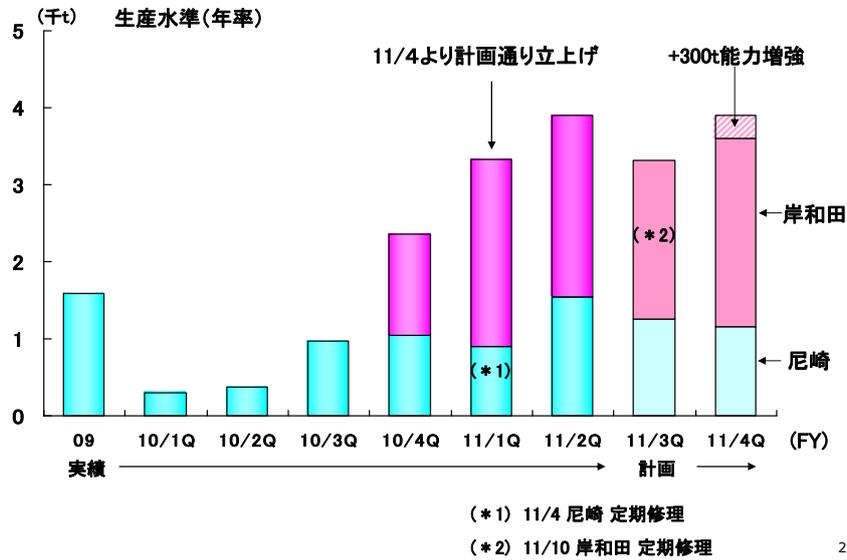
24

## IV 増産の進捗状況

## スポンジチタン増産立上げ



## ポリシリコン生産量推移



27

## 終了

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、不確定要素を含んでおります。このため、様々な要因により、実際に生じる結果が予測内容と異なる可能性があることをご承知下さい。本資料利用によって生じるいかなる結果につきましても、当社が責任を負うものではありません。

28